

## 母親のみた子どもたち



四月に入園した子どもたちも七月のおとずれと共にはじめの夏やすみを迎えることになった。幼稚園へいくことを待ちこがれていた子ども、いくことが不安でたまらなかつた子ども、みな、この三ヶ月間の幼稚園生活のなかでどんなことを経験したのであるか。幼稚園へ入る前に抱いていた期待や不安が、この生活をとおして、どのように強められあるいは弱められていったのであろうか。この一期間をふり返ってみて、子どもの様子にどのような変化がみられたか、母親の目にうつった子どもの姿を知らせていただいて、私たちも九月からの保育の参考にしたいと思ひ、七月のはじめにアンケートを出してみた。

前回の場合と同じように、各項目について対象をできるだけ細かくとつてみて延べの数を出し、細かい対象をまとめて、比較的数の多いものを挙げておく。

(1) 幼稚園へよろこんでいきますか。どんな点をよろこんでいます

か。

ほとんどの子どもが喜んで幼稚園へ来ている。先生や友だちとあそべる、いろいろな遊具であそべることがもっとも大きな喜びであり、これは幼稚園へ入る前から期待していたことそのまま、子どもたちにとってはそれが生活のすべてというところであろう。

おべんどうを楽しみにしているのと同じように、お当番になれることのうれしさが挙げられている。お当番になるというのは余程うれしいものらしく、字のよめる子どももよめない子どもも、黒板にかかれているお当番の名前をみては「あしただあれ」とたずねる。自分だということになれば喜びをかくしきれない表情で得意気にはかの子どもたちに言いつて歩いたりしている。こんなときは家へ帰ると「ただいま」もいわないでお母さんに報告していることである。

スクールバスで行く、乗物にのって行くことなどは喜びの対象としては入園当初にくらべると影のうすいものになった。

幼稚園へ喜んでいきながらいない子どもが四人あったが、その理由については何もかかれていない。(2)のいやなこと項目で、いじわるする子どもがいるとかいてあり、強いていえばそのためかとも考えられる。

(2) 幼稚園でのいやなことはどんなことでしょうか。

過半数の子どもはいやなことはないといっている。また、いやなことのある子どもたちも、それが幼稚園へ行きたくない原因になっ

第 I 表

項目	ま と め	
1	<p>よろこんでいく .....61人</p> <p>先生、友だちと遊べる.....40</p> <p>遊び場・遊具がある.....19</p> <p>スクールバスでいく..... 6</p> <p>おべんとうがある..... 6</p> <p>お当番になれる..... 5</p> <p>その他.....22</p>	<p>よろこんでいかない ..... 4人</p>
2	<p>いやなことがある .....38</p> <p>お友だちにいじわるされる...20</p> <p>お友だちとけんかする..... 3</p> <p>その他.....10</p>	<p>いやなことはない .....27</p>
3	<p>あそび相手</p> <p>近所の友だち.....35</p> <p>兄弟姉妹やその友だち.....21</p> <p>その他.....52</p>	<p>遊び</p> <p>ごっこあそび.....30</p> <p>製作・絵・切紙ぬりえなど...29</p> <p>屋外遊具でのあそび (ブランコ・鉄棒など).....18</p> <p>砂あそび.....11</p> <p>積木あそび..... 9</p> <p>その他.....36</p>
	<p>あそび相手が変わった .....35</p> <p>同じ年齢の子ども・同 じ幼稚園の子どもとあ そぶようになった その他.....12</p> <p>あそびが変わった .....26</p> <p>外あそびが多くなり、 活発になった その他.....21</p>	<p>あそび相手は変わらない .....30</p> <p>あそびは変わらない .....39</p>
4	<p>できるようにな ったことがある .....61</p> <p>うがい・手洗.....46</p> <p>あいさつ.....31</p> <p>あとかたづけ・あとしまつ...18</p> <p>その他.....29</p>	<p>とくのできるようにな ったとは思わない ..... 4</p>
5	<p>変わった点がみられる .....55</p> <p>積極的になったきた.....26</p> <p>(はきはきしてきた、何で も自分のことは自分です ようになった等)</p> <p>ことば・態度が乱暴 になった.....27</p> <p>(怒りっぽくなった、言う ことをきかなくなった等)</p> <p>その他.....7</p>	<p>変わった点はみられない .....10</p>
6	<p>生活が変わった .....48</p> <p>生活が規則正しくなり.....38</p> <p>ゆとりができた その他.....14</p>	<p>生活は変わらない .....17</p>

全65人 数字は実数

ていどと考えられるような場合は(1)で述べた四人べただけである。  
(3) このごろお家で誰とどんなことをして遊んでいますか。幼稚園へくるようになってからお家での遊び相手、遊びが変わったでしょうか。  
家での遊び相手は、近所の友だちや兄弟姉妹・その友だちというものがほとんどで、ひとりというのはわずかである。ところで、入園

前と入園後では家での遊び相手に変化があったかどうか——同じ近所の友だちといっても前からそうなのか、それとも幼稚園へいきはじめてから(たとえば積極的に友だちを求めるようになって)友だちになったのか——幼稚園生活からの影響が家での交友関係に及んで来ることはないだろうかと思っただが著しい変化はみられなかった。近所の友だちについても同じような年の相手である場合は少

ないし、それもいっしょに幼稚園へかよっている友だち同志というのがほとんどである。なかには近所のお友だちがほかの幼稚園へいってしまったので、どうも今までのようにしつくりせず遊ばなくなったとか、同じ幼稚園ではあるがちがう組になったので遊ばないとはいった例もある。

遊び方についても、外あそびが多くなり遊びが活発になったというのがやや多いだけで、目立った変化はない。外あそびが多いというのも、季節的には自然のこととも言える。現在、家でどんな遊びをしているかについては、こまかくききあげると三〇種類以上にもなるので、まとめていくつかのグループにしてみた。ごっこあそびに次ぐ製作・切紙などについては、晴雨にかかわらずされていると思われる場合だけをとりあげた。これはやはり兄弟姉妹といっしょに遊ぶことの多い子どもたちのようである。

(4) 幼稚園へくるようになってからしつけの面でよくできるようなことがありますが。(たとえば、お早うございませす等のあいさつ、手を洗うこと、自分で使ったものあとしまつなどその他)

ほとんどの子どもについて、しつけの面でよくできるようなことがあるとしている。うがい・手洗い、あいさつ、あとしまつ・あとかたづけの三つがもっとも多いが、これははじめの間生活指導の目標が主としてこの点におかれているからであろう。そのほか着物のぬぎ着がひとりできるといったようになった、時間の觀念ができて

きたなどである。

(5) 幼稚園へくるようになってから態度の面で何か変わった点がみられますか。(たとえば、はきはきしてきた、おちつかなくなったなど、その他)

態度の面でも多くが変化を認めている。はっきりしてきた、自分で何でもしようとするようになった、甘えっ子でなくなったなど積極的になったというもの、逆にことばや態度が乱暴になった、怒りっぽくなった、すなおに言うことをきかなくなったなどや攻撃的な傾向のみられるものがあり、後者については、その原因がはじめの集団生活で疲れやすくなっている点にあることも否めない。また両者はいっしょに伴っている場合もあるので、母親の目にはどちらの面がより多くうつるかということにもなる。そのほか、親切になった、きちょうめんになった、よく言うことをきくようになったなど好ましい面もあれば、内気になった、母親に甘えるようになったなど余り好ましくない面もあらわれている。

(6) お子さんが幼稚園へくるようになってからお母様の生活が変りましたか。

多くの母親が生活に変化があったといっている。生活が規則正しくなり仕事がよくかたづいてゆとりができたというのがその主なものであるが、なかには、子どもの送り迎えに時間をとられ忙しくなったというものもある。

(7) 幼稚園にたいして希望される点について。

第 II 表

幼稚園へいくことを楽しみにしている → 幼稚園へようこんでいく……………45	
幼稚園へいくことに不安をもっている → 幼稚園へようこんでいく……………16	
(ひとりで行くのが心細い お友だちが知らない人ばかり お友だちにいじめられたりしないだろうか)	など
幼稚園へいくことを楽しみにしている → 幼稚園へようこんではい かない	} …… 4
幼稚園へいくことに不安をもっている → 幼稚園へようこんではい かない (ひとりで行くのが心細い)	

自分の子どもについて希望する事柄が多く一般的なものとしてと  
りあげられることは余りないので省略したい。

以上各項目について述べてきたが、ここで、入園前に出したアン  
ケートの回答にふくまれていている幼稚園生活への期待や不安が今回の  
アンケートにどのようなようにあらわれているか、両者を比較してみたい  
と思う。表Ⅱがそのまとめであるが、やはり不安なしに入園を待ち

こがれているような子どもは入  
園後も順調に集団生活にとけこ  
んでいるようである。また、ひ  
とりでいくこと、お友だちに対  
する不安などもどちらかといえ  
ば一時的なもので、ほとんどの  
場合は入園後まもなく解消し、  
幼稚園へくるのがいやになるほ  
ど決定的な原因となることは稀  
であるように思う。もちろん、  
入園当初に友だちのためにひど  
くいやな思いをしたとか通園の  
途中でこわい目にあったという  
ようなことでもおれば別であ  
るが。ダンス(リズムあそびの

ことであろうか)をさせられるからいきたくないといった男の子、  
身体検査のときのことをおもい出して不安になっていた男の子も今  
では元気にかよっている。幼稚園へいくことを楽しみにしていたの  
に入園してからいやになり出したという男の子は、六月なかば頃ま  
で落ちつかず、友だちとあそぼうとはしないがふぎけていたずら  
してみたり、リズムあそびのときなど外へ出ていってしまったり、  
担任の先生を困らせた。ただ当番のときには張りきって何か用  
事をたのむとよくしてくれた。七月に入ってからはかなり落ちつい  
たようであるが夏休みをはさんで九月にまたもどつてしまうこと  
のないよう願っている。ひとりで幼稚園へいくのが心細くてたまらな  
かったという女の子は今回のアンケートに五月なかば頃からよろこ  
んでは行かなくなったと書かれている。歌などうたつていても静か  
にしないお友だちがへやの中を駆けまわったりするのでいやだ、幼  
稚園でやかましいところねと言ったり、水洗のお手洗いは一定時間  
に水が流れることになっていたのでその音がこわくて一人では用が  
たせないとの事で、神経質な子どもとも考えられる。

入園から夏休みまでの間は幼稚園としてもまず子どもたちが幼稚  
園生活に安定感をもつように心がけてきたわけであるが、一応その  
目的は達せられたと思う。多くの子どもは入園してから三月のあい  
だには、ほぼ落ちつくものである。そうでない子どもは、やはり何  
か問題をもっているものと考えてよいのではないだろうか。

(河尻 朋子)